

令和3年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「日本史B 新訂版」(実教出版 版)						
副教材等	図説日本史通覧(株式会社帝国書院)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- 1、文献史料を読むこと、ICT機器、写真資料、実物教材にふれることで日本史学習への関心と意欲を高める。
- 2、年表、地図その他の資料を活用し、基本的な日本歴史の知識を身につけさせる。
- 3、世界史的視野に立って、日本の歴史を考察する。

2. 学習の到達目標

- 1、日本史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させる。
- 2、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせる
- 3、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用 of 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きる課題を追求する。	日本歴史の展開、文化と伝統の特色について、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察する。また、個々にまたはグループで調べ学習を通じて学び、発表等を通じて多くを学ぶ。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、その過程や結果を個人で、またはグループによる協同で適切に表現する。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての事項を、世界史的視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につける。
評 価 方 法	授業中の発言や質問、課題への積極的な取り組み姿勢(ノートやプリントの積極的な提出)	文章表現能力の確認(考査における論述や発表会における相互評価など点数化する)	発表における文献、絵画、地図などの資料の適切な活用を相互評価とともに、担当者による点数評価をおこなう。	課題や小テスト、定期考査などにおいて知識定着を確認、点数化によって評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期 (前半)	近代への転換	開国 明治維新		○	○	○	a: 近代への変遷に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、積極的な態度である。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
		四民平等と富国強兵		○	○	○	b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的多面的な考察ができる。	
		初期の外交と国内政治		○	○	○	c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる	
		文明開化	○	○	○	○	d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	
1 学期 (後半)	近代国家の形成	民権運動の展開	○	○		○	a: 立憲国家成立に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、積極的な態度である。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
		立憲政治への道	○	○		○	b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的多面的な考察ができる。	
		初期議会と日清戦争	○	○		○	c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる	
		政党の進出と日露戦争	○	○			d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	
2 学期 (前半)	両大戦間の日本と市民文化	政党の進出と日露戦争	○	○		○	a: 日本と東アジア情勢に関心を持ち、意欲的、積極的な態度である。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
		産業革命と社会の変化		○	○	○	b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的多面的な考察ができる。	
		近代文化の形成と展開	○		○	○	c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる	
		第一次世界大戦	○	○	○	○	d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	
2 学期 (後半)	十五年戦争と日本	大戦後の内外環境	○		○	○	a: 近代政治に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、積極的な態度である。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
		政党政治の展開	○		○	○	b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的多面的な考察ができる。	
		市民文化の展開	○		○	○	c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる	
		満州事変	○	○	○	○	d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	

3 学期	現代の日本 と新しい文 化	日中戦争 アジア・太平洋戦争	○	○	○	○	a: 現代国家変遷に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、積極的な態度である。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
		占領と民主改革	○	○		○	b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的多面的な考察ができる。	
		サンフランシスコ講和会議と安保体制		○	○	○	c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる	
		高度経済成長下の日本	○	○	○	○	d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	

※ 表中の観点について      a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
    c: 資料活用の技能      d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。